

学年	月	授業タイトル	学習内容	活動内容	学びの要素	授業目的	使用アプリケーション	備考	
1年	4月	図書館入門 (2回)	図書館入門。日本十進分類、使い方等	講義/図書館で自身が興味を持つ本棚を探す/資料を収集する	知る/探す/図書館利用/知識の体系化	図書館のしくみについて知る。整理・体系化された知識群に触れ、知的関心を喚起する			
	5月	おためし読書 (2回)	本のおためし読みによる多読 (フィクション、ノンフィクション)	机上に置かれた資料セット(3-5冊)を試し読みする。5分×7回。面白いと思った資料に対して評価を行い、データを入力する	知る/読む/評価する	大量の本と出合う事で、本・図書館の面白さに触れる。知的関心を喚起する。資料に対する評価のデータ入力を通じ、コンピュータの基本操作に慣れる	Word,お試し読書評価フォーム	情報端末初使用。ドメイン、まなBOX、再発行多数。タイピング練習	
	6月	小さな物語の執筆 (5回)	物語文作成。1200字程度、オチをつける自由創作	物語文作成のメソッドを学び、自由な発想で創作する。完成した作品をお互いに読み、評価を行う	題材を考える/読む/書く/発表する/人の作品を評価する	物語文の作成を通じ、自由な発想で学ぶ事の面白さ、結論(オチ)づけの難しさを知る。文書作成の基本操作 (Word)、LMSを用いた課題の提出(まなBOX)	まなBOX,Word		
	8月	はじめての探究学習 (4回)	画用紙一枚の探究学習。資料引用と、自身のコメント	図書館でブラウジングを行い、自身の興味に基づいた学習の題材を探す。他者の言葉(資料)を引用し、自身の言葉で述べる(コメント)する。画用紙1枚のポスターにまとめる。完成作品をお互いに読み、評価	題材を考える/探す/知る/引用する/まとめる/コメントする/読む/書く/発表する/人の作品を評価する	自身の興味に基づいた探究学習により、学ぶ事の面白さを知る。他者の言葉と自身の言葉に分けて記述する、引用手法を学ぶ。他者の興味・関心に基づく作品に触れ、多様性を感じる。図書館検索及びWeb検索に触れる	LibFinder,ブラウザ	自分の意見と引用の区別をつける。出典を書く。	
	11月	感謝の手紙を書く (5回)	身近な店、商品、企業などへ、感謝を込めた封書を出す	感謝したい身近なモノ・コト・サービスを考える。調べ学習を行い、手紙の書き方を学び、感謝や提案を盛り込んだ手紙を事業者に送る	知る/探す/読む/書く/社会と繋がる/	感謝の対象を改めて調査し、正式な手紙の「型」を学び、実際に手紙のやりとりを行い、オーセンティックな経験を通じて、自身の学びと社会とのつながりを知る	まなBOX,Word	手紙の型、宛名など封筒の書き方	
	1月	就活プロジェクト (3回)	企業・職業調べ。個人で企業情報について探究を行い、ポスター制作	なりたい職業・興味がある企業等を考え、業界・企業調べを行う。他者の言葉(資料)を引用し、自身の言葉で述べる(コメント)する。画用紙1枚のポスターにまとめる。完成作品をお互いに読み、評価する	知る/探す/読む/書く/社会と繋がる/	様々な仕事や会社組織がある事を知り、自分の興味・関心を探るきっかけとする。自身の学びと社会とのつながりを知る	まなBOX,Word		
	3月	中学一年生は訴える (3回)	500字程度の「訴える」「主張する」論理的文章を書く。	論理的に訴えるための書き方を学び、自身の主張を当てはめて、文章を執筆する。文書作成の作法に基づいて相互に添削を行った。	言語技術	論理的文章の書き方を学ぶ。根拠と主題の繋がりを意識させ、文書全体を端的に表すためのタイトル付けを行う			
	4月	統計で世界を考える	統計教育ガイダンス、ふでばこ調査データ収集	講義/筆箱の中身を広げ、アンケート設問に答える	データリテラシー	社会における統計の役割について知る。自身の身近なもの(ふでばこの中身)について各種のデータ入力を行い、統計調査の手法を体験する	まなBOX		
	5月	清教学園ふでばこ調査 (6回)	表計算ソフト基礎	Excelファイルに組み込まれた演習問題を解く	データリテラシー	表計算のしくみや、データの種類の、数値データの計算処理、質的データの整形、グラフ化といった、表計算ソフトの基本的な理解と、技術を身に着ける			
	6月	グループで分析ポスター制作	学年の筆箱調査に関するデータを入手し、分析を行う。属性間比較を中心に、グループで決定する大テーマと、自身の小テーマを決める。グラフを印刷して画用紙に貼り付け、分析ポスターを完成させる。	学年の筆箱調査に関するデータを入手し、分析を行う。属性間比較を中心に、グループで決定する大テーマと、自身の小テーマを決める。グラフを印刷して画用紙に貼り付け、分析ポスターを完成させる。	データリテラシー/まとめる/読み取る/書く/仮説検証	データ分析、グラフ化の手法と流れを学ぶ。仮説の検証、結果の考察を通じて、統計データからの論証判断を学ぶ。自らテーマを決定して分析を行うことで、表計算ソフトの基本的な理解と技術を定着させる	Excel	セル、シートのしくみ、グラフ化、関数(SUM,AVERAGE,COUNTIF)	
2年	7月	統計で世界を考える 自由テーマで統計分析 (3回+夏期休暇課題)	自身が興味を持つ、自由な調査テーマを考える。調査企画書作成 アンケート作成、回答、回収、データ入力	調査企画書に基づき、アンケートシートを作成する。クラス全員に配布し、回答の時間をとる。回収後、excelにデータを入力する	データリテラシー/まとめる/書く/企画する/調査手法の検討/仮説検証 調査手法/データリテラシー	自身の興味を探しつつ、データリテラシーの視点を養う。調査企画書の作成を通じて、自身の考えるプロジェクトを相手に伝える アンケートの作成と他者のアンケートへの回答を通じて、統計調査の実際を学ぶ	Excel,Word,まなBOX,博報堂生活定点		
	8月	夏休み課題統計グラフコンクール作品制作	回収したアンケートまたは調査して得たデータと、全国データを比較し、グラフを作成し分析を行う。1枚のポスターに仕上げる	データリテラシー/まとめる/書く/企画する/調査手法の検討/仮説検証	コンクール作品の制作を通じ、自身でテーマを立て、調査を行い、社会的なデータと比較しながら、データリテラシーの基礎を学ぶ	Office365(Excel,OneDrive)	大阪府統計グラフコンクール出品		
	9月	卒業論文への助走 自分の賜物(題材)探し (2回)	Wikipediaで興味を探す 新書おためし読みによる多読	wikipediaのリンク機能を使って、自身の興味関心に基づくWebブラウジングを行う。WikiのページからWikiのページへ 机上に置かれた新書セット(10冊)を試し読みする。5分×7回。面白いと思った資料に対して評価を行い、データを入力する	検索技術/題材を考える/読む/知る/既知知識の獲得 題材を考える/読む/知る/既知知識の獲得	自身の興味の対象を探る。研究の題材を探す 大量の本と出合う事で、知的関心を喚起する。自身の興味の対象を見つける。新書の多読を通じ、論理的文章の書き方を学ぶ	まなBOX,Gmail,Wikipedia	メール(作成、返信、署名、定型文)	
	10月	卒業論文への助走 先行研究の調査 題材を深掘する (5回)	資料検索演習(研究のための資料集め) 10分間黙読(毎時冒頭)の実施。研究のための文献の読み方指導。気になる箇所には付箋紙を貼り、興味の対象を絞る。資料から書き写す 研究企画書(ver1)を書く	図書館でブラウジングを行い、自身の興味に基づいた学習の題材と、研究のための基礎資料を3冊以上探す 10分間黙読(毎時冒頭)の実施。研究のための文献の読み方指導。気になる箇所には付箋紙を貼り、興味の対象を絞る。資料から書き写す 論文執筆に向けて研究企画書を書く。題材、テーマ、意義・価値、動機、参考文献等を書式にまとめる	検索技術/題材を考える/資料収集/文献調査 題材を考える/読む/知る/既知知識の獲得/引用手法 題材を考える/研究への意味付け/	自身の興味に基づき資料を集め、知識を深める 研究のための資料の読み方を学ぶ。黙読と付箋貼りを通じて、自身の興味対象(題材)の範囲を更に絞り込む。引用の作法を学ぶ 自らの研究に興味付けを行う。自分の研究題材について考察し、単なる課題提出に終わらない、社会に公表される研究である事を人に伝える	LibFinder		
	11月	関大生とのメール実習(研究のレファレンス依頼)	関西大学司書教諭課程の学生にメールで企画書及び手紙を送付する。自身の題材に応じたレファレンスを依頼し、資料を入手する	関西大学司書教諭課程の学生にメールで企画書及び手紙を送付する。自身の題材に応じたレファレンスを依頼し、資料を入手する	外部とのやり取り/相手に伝えるための文章/社会とのつながり	学外とのメールのやりとりを通じ、世の中のやりとりのマナーを学ぶ。	まなBOX,Gmail,LibFinder,Office365,Word	関大司書教諭課程の学生とメールでやりとり。資料の相談、研究の相談など	
	12月	卒業論文への助走 研究ピースを書き溜める (5回)	論文執筆における引用手法 文献講読と執筆	文献講読を始め、研究題材に関する基本的な知識を獲得していく。正確な引用手法によって、自身の言葉と他者の言葉を書き分ける	読む/知る/既知知識の獲得/引用手法	研究の題材に対する基礎的な知識を学ぶ中で、自身の研究テーマをさらに深める。適切な引用手法を守り、引用と考察を書き分けることで、学問的誠実性を担保する。自身の言葉を自身の言葉として伝える意識を持つ。ライティングの基礎を学ぶ	まなBOX,Word まなBOX,Word		
	2月	卒業研究発表会 (1回)	卒業研究発表会、参観振り返り	自身が興味を持つ中3の研究発表会を参観する。同じ興味を持つ先輩が、どのように研究を行ったのかを学ぶ	発表を見る・聞く/発表者の意図や内容を理解する	先速に学び、自身の研究に展望を持つ	まなBOX,Word	ハテナソン(質問だし)演習	
	3月	先輩の論文を読む (1回)	先輩の卒業論文を読む(文献講読)	セレクトされた先輩の論文から一つ選び、文献講読を行う。論文の構造に関する問題を解く	論文を読む/執筆者の意図や内容を理解する	問いと結論、根拠、意義・価値、キッカケ、参考文献一覧といった、論文の構造を知る。研究論文がどのような構造によって著されているかを理解する	まなBOX	参観する発表は、事前に希望アンケートをとり、自身の興味に合致した研究を参観できるように配慮。	
	3年	4月	卒業論文執筆 (研究ピースの書き溜めは年間を通じて授業時間中に行う)	研究企画書(ver2.)を書く/研究ピース執筆	題材について学ぶ中で、自身の知識が増えていく。それらを基に、研究企画書を改訂する	題材を考える/読む/知る/既知知識の獲得/研究への意味付け/テーマの絞り込み	研究の焦点の絞り込みを行う。漠然とした研究題材から、ある程度研究の方向性を考える。どんなテーマが「良い」のか、リサーチアクションについて理解する。それらを企画書の書式に落とし込み、相手に伝える	まなBOX,LibFinder,Office365,Word	企画書は受理するが、「研究テーマ」(リサーチアクション)を立てられる者は殆どいない。研究を通じて「テーマ」に昇華されていく
		5月	フィールドワーク調査の企画/研究ピース執筆	自身の研究テーマについて、適切なフィールドワーク調査の手法(取材・実験・観察・社会調査等)を検討する。保護者に企画許可を得る	適切な調査手法の検討/社会との繋がり/知る/	自身のテーマに関する企業・研究機関の調査、その他調査手法の検討を通じ、資料から学ぶだけではない、自身のオリジナルな情報源へのアプローチを学ぶ	まなBOX,LibFinder,Office365,Word	フィールドワーク先の検討及び面談を通じ、研究の進捗を把握。保護者印	
6月		フィールドワーク先に取材依頼の手紙を送る/研究ピース執筆	フィールドワーク調査(取材・実験・観察・社会調査等)の関係機関に手紙を送り、調査の許諾を得る。取材等の場合はアポをとる	フィールドワーク調査(取材・実験・観察・社会調査等)の関係機関に手紙を送り、調査の許諾を得る。取材等の場合はアポをとる	外部とのやり取り/相手に伝えるための文章/社会とのつながり	FW先との連絡を通じて、世の中のやりとりのマナーを学ぶ。自身の研究題材に、実社会で関わっている大人とのやりとりを通じ、本課題のオーセンティックな側面を理解する。実際に人に取材を行う、という緊張感のもと、更に学びを深める。	まなBOX,LibFinder,Office365,Word	手紙テンプレート使用。添え状、及び生徒の手紙をセットに	
7月		(一斉指導の中で学習内容を扱うのは「月」の通りであるが、個々の生徒の研究状況によって、生徒自身がどの内容に取り組んでいるかは異なる)	論文草稿の提出/研究ピース執筆	研究の草稿を提出し、添削を受ける	読む/知る/既知知識の獲得/論理的文章/論理構造の組み立て	自身の論文の骨子を確認し、11月の最終提出までに何が必要か、フィールドワークに向けて研究をどう進めるかを考える。添削指導と手直しにより、論理的文章の書き方及び、論理的構造を持った論文の章立てを理解する	まなBOX,LibFinder,Office365,Word	草稿の提出をもって、研究の中間報告とする	
8月		フィールドワーク(取材、実験、観察、社会調査)/研究ピース執筆	フィールドワーク調査(取材・実験・観察・社会調査等)等を実施する。調査の記録をまとめ、2000字以上のレポートにまとめる	フィールドワーク調査(取材・実験・観察・社会調査等)等を実施する。調査の記録をまとめ、2000字以上のレポートにまとめる	外部とのやり取り/相手に伝えるための文章/社会とのつながり/経験をまとめる	フィールドワークを通じ、資料からは学べない現場の実際を体験する。自身の研究領域で活躍する世の中の人や、自分自身で実験や調査を行うことにより、本課題のオーセンティックな側面を理解する。そこで得た知見をレポートにまとめ人に伝える	まなBOX,LibFinder,Office365,Word	夏休み課題。取材は録音し、文字起こしによってインタビュー記事を作る	
9月		フィールドワーク報告の提出、研究への組み込み/研究ピース執筆	フィールドワークレポートを、論文の任意の章に組み込む。それを基に、さらに研究を進める	フィールドワークレポートを、論文の任意の章に組み込む。それを基に、さらに研究を進める	読む/知る/既知知識の獲得/論理的文章/論理構造の組み立て	フィールドワークのレポートを論文に組み込むことで、自身の研究に必要な側面を把握する。研究の方向性を考ええる。資料でわかったこと、実際の現場から学んだこと、二つの面から、自身の考察をさらに深める	まなBOX,LibFinder,Office365,Word		
10月		研究のブラッシュアップ/研究ピース執筆 (研究テーマの再考、章立ての検討、根拠と結論等)	更に研究を進める。図説(写真、グラフ等)の追加や、「意義・価値」「動機」「目次」等、論文の体裁のための書式を揃える	更に研究を進める。図説(写真、グラフ等)の追加や、「意義・価値」「動機」「目次」等、論文の体裁のための書式を揃える	読む/知る/既知知識の獲得/論理的文章/論理構造の組み立て/リサーチアクションの設定/結論への導き/章立てによる根拠の整理	研究の加筆・修正を通じ、さらに探究を深める。テーマ見直しも含め、自分が学んだことは何か、学びたかったことは何か、世の中における意義・価値を再考する。書き溜めた研究ピースを俯瞰し、章立てを行う。章立てを通じて結論及び根拠を検討する	まなBOX,LibFinder,Office365,Word	集めた研究ピースによって、「何を問える」のか「どう結論付けられる」のかを再検討する	
11月		卒業論文提出/研究ピース執筆	更に研究を進める。期日に提出を行う。添削指導を受けた後の、合格基準に向けて再度書き直しを行う	更に研究を進める。期日に提出を行う。添削指導を受けた後の、合格基準に向けて再度書き直しを行う	読む/知る/既知知識の獲得/論理的文章/論理構造の組み立て/リサーチアクションの設定/結論への導き/章立てによる根拠の整理	研究の加筆・修正を通じ、さらに探究を深める。テーマ見直しも含め、自分が学んだことは何か、学びたかったことは何か、世の中における意義・価値を再考する。書き溜めた研究ピースを俯瞰し、章立てを行う。章立てを通じて結論及び根拠を検討する	まなBOX,LibFinder,Office365,Word		
12月		卒研発表会ガイダンス /発表原稿と発表ポスターの作成	発表原稿とポスターを作成する。10分の発表時間に基づき、テンプレートにそって、自身の論文(10000字~40000字程度)からA1のポスターをまとめる	発表原稿とポスターを作成する。10分の発表時間に基づき、テンプレートにそって、自身の論文(10000字~40000字程度)からA1のポスターをまとめる	まとめる/伝える	「書いて伝える」から「話して伝える」への転換を学ぶ。論文の要点整理、話の焦点を絞る方法、根拠の提示による問いと結論の関連付け等、論文執筆で得た技術をポスター発表でも活かす	まなBOX,LibFinder,Office365,Word	研究分野が近い4名が集まり、50分間の研究発表を企画	
2月		卒業研究発表会 (5回)	参観希望アンケート /発表原稿と発表ポスターの作成	発表テーマリスト(170名テーマ一覧)から、参観希望するテーマを選ぶ。自身のテーマとの類似、興味・関心に基づき、6件の希望を提出	まとめる/伝える	「書いて伝える」から「話して伝える」への転換を学ぶ。論文の要点整理、話の焦点を絞る方法、根拠の提示による問いと結論の関連付け等、論文執筆で得た技術をポスター発表でも活かす	まなBOX,LibFinder,Office365,Word		
3月	卒業研究発表会、発表振り返り	1人10分x2回の発表、6名分を参観。1・2年生も参観 発表会終了後は、アンケート調査による1年の振り返りを行う	1人10分x2回の発表、6名分を参観 発表会終了後は、アンケート調査による1年の振り返りを行う	まとめる/伝える/聞く/話す/興味・関心による探究を、相互に認め合う	170の多様な探究テーマへの参観を通じ、多様性の相互承認を目指す。お互いの興味や関心を認め合い、それらがどのような意義・価値を持っているのかを知る。社会を構成する様々な学問領域や、企業組織などの意義や価値を通じて、いざれ同じように社会を構成する存在となる、自身の将来への展望を持つ	まなBOX,LibFinder,Office365,Word	1~3年合同。参観するブースは希望制		